



## おもちゃ箱いこま・いこまBLOCK 事業者における放課後等デイサービス自己評価表

公開日：2022年3月31日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	●				
	②	職員の配置数は適切であるか	●				児童指導員以上の有資格者の比率を高める努力をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	●			移転時に可能な限りバリアフリーにした。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	●				スタッフ会議を月一回開催を必須にしている。その中で、支援の改善点などをPDCAとして取り入れている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		●			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●				全スタッフ対象の会議(オンライン含む)勉強会などを不定期に実施
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	●				複数のスタッフでアセスメントを行い作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	●				今後、導入したい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	●				自発管のみでの計画立案ではなく、各スタッフと協力して作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●				必要なプログラムでない限り固定せず、様々なプログラムを提供している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	●				長期休暇でのプログラムは、達成感や成功体験を感じるものを積極的に企画している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	●				個別・集団活動を必ず相互に組み込むようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●				朝ミーティングでの打ち合わせを実施。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●				終了ミーティングでの話し合いを実施。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●				全スタッフが記載しやすい記録帳に改善した。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	●				個別・集団活動を必ず相互に組み込むようにしている。
関	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	●				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	●				学校への定期的な連絡など、支援担当の先生方と連絡を取りながら適切におこなっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			●		

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		●			
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			●	福祉施設サービス事業所へ移行した者はいないが、就労訓練施設などとの連携を行っている。	
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	●				支援以外に家庭内の問題に対するアドバイス等をいただき、参考にしている。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			●		
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	●				参加依頼があれば、積極的に参加している。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●				公式SNSなどを利用して、細かな状況共有を行っている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	●				公式SNSなどを利用して、細かなアドバイスを行っている。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●				契約時に必ず説明を行っている。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●				公式SNSなどを利用して、細かなアドバイスを行っている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			●		
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●				苦情等について、原因を究明して適切に説明と再発防止策を提示して対応している。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●				年間2回の活動報告を発行している。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	●				スタッフ同士の外部の会話などで、個人が特定されないように守秘義務の徹底を図っている。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●				マカトンサイン・絵カードなどを用いて情報伝達の配慮を行っている。
非常時等の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			●		今後、計画したい。
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	●				契約時に必ず説明を行っている。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●				年1回以上の訓練を利用者参加型で実施している。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●				県主催の研修会に職員が出席し、施設内で伝達研修を行うようにしている。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	●				契約時に身体拘束の説明は行っている。現在、道具を用いる拘束は実施していないが、職員が抑えることを説明して、同意を得ている。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	●				ご家庭より情報提供いただきカルテにて保管とスタッフへの周知徹底を実施。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			●		今後、計画したい。